

9月29日掲載

## 「仕事と育児」

「必ず伺える方を見つけますからね」。札幌市の「こども緊急サポートネットワーク」のこの言葉に、何度救われたか分からない。

先日子どもが熱を出し、保育園から呼び出された。仕事中に着信があるたびに何かあったのではないかと胸が締め付けられる思いがする。そんな子どもの体調不良時によく利用しているのが札幌市のこのサービスで、急を要する子どもの世話のやめに会員を派遣してくれる。私も夫も実家は本州で近くに親はいない。仕事を休めないとき、この制度は本当にありがたい。

8月末に「女性活躍推進法」が成立した。登用が進むことで、女性の活躍できる場が増えたり新しい価値が生まれたりする期待がある。しかし、子育て中の女性が活躍するために本当に必要なのは、家族や職場などの「身近な人のサポート」のように思う。

ひとりで育児と仕事を行うのは限界がある。週末は夫に子どもの面倒を見てもらったり、保育園に預けられない時は会議に同席させてもらったりしたこともある。「お子さん、連れてきていいよ」と言ってもらえたことは本当に嬉しかった。周りの人々の協力がどれだけ大きかを、日々の子育てを通じて感じている。

私が小さい頃は、親が不在でも祖父母や近所の方が面倒を見てくれた。近年は家族環境が変化して核家族化が進み、近所との交流も少なくなった気がする。周囲とのコミュニケーションを図り、地域全体で仕事も育児も両立できる環境作りをしていきたい。

(毎日新聞より)